

「わたしのCOOL CHOICE大募集!」事業 温暖化防止に向けた工夫やアイデア集まる



脱温暖化推進員フォーラム2017で行われた表彰式(上)、真似したい取り組み2件に投票(下)

脱温暖化センターひろしまでは、環境省が推奨する国民運動「COOL CHOICE(=温暖化対策に資する賢い選択を促す取り組み)の普及を通じて、家庭での温暖化対策をより推進するため「わたしのCOOL CHOICE大募集!」事業を実施しました。

この事業は、平成28年11月28日から平成29年1月20日を期間に、温暖化防止のために日頃実践している取り組みを募集。1次・2次選考会を行い、優秀な取り組みを表彰するとともに、今後の普及啓発活動等に活用し広めていくことも目指します。

11市町から74人の応募があり、服装に関することや買物、住まいや暮らし方、家電の使い

方に関する157件の工夫やアイデアが寄せられました。

1次選考会は1月31日に実施しました。選考委員は脱温暖化センターひろしま運営委員およびTEAM MATEひろしま代表副代表の7人をお願いし、取り組み一つひとつを5つの基準で採点。合計得点の高い順に24件を選考しました。

2次選考会は2月10日に実施。脱温暖化推進員フォーラム2017の参加者57人に、24件のうちから「ぜひ、真似して取り組みたい」と思った取り組みを2件選んでもらいました。そして、得票数の多い順に、金賞1件銀賞2件銅賞3件を決定しました。結果は下表のとおりです。

受賞者および取り組み内容の一覧

区分	取り組み内容	受賞者
金賞	エコドライブ(ふんわりスタート、エンジンブレーキの活用など)を心がけている。	東広島市 小原 義昭さん
銀賞	着なくなったセーターの首や袖部分を「ネックウォーマー」や「レッグウォーマー」として活用している。	呉市 大野 喜子さん
	冷蔵庫の中身をチェックしてから買い物に出掛ける。	呉市 吉川 美幸さん
銅賞	玄関の照明を「センサー付のLED電球」に買い替えた。	大崎上島町 川口 多美子さん
	冷蔵庫の中の食品は使い切る。	尾道市 細谷 マリコさん
	マンション8階のベランダにグリーンカーテンを設置し、涼しい環境の創出とゴーヤの収穫を楽しんでいる。	海田町 荘川 要さん

平成28年度地球温暖化防止活動推進員新規養成研修 10組23人が県知事から委嘱

脱温暖化センターひろしまの「平成28年度地球温暖化防止活動推進員新規養成研修」を受講した10組23人が、12月7日、地球温暖化防止活動推進員を広島県知事から委嘱されました。

研修は、前期(6月上旬)・中期(6月下旬)・後期(12月)の3回に分けて実施しました。前期で地球温暖化の基礎知識や取り組み事例、企画づくりの手法を学習し、中期で実践する企画を立案、後期で実践結果を報告しました。

実践活動は、出前講座やクールシェア、アイドリング・ストップ、体験講座、緑のカーテン、省エネなどさまざまで、みなさんの今後の活躍が期待されます。

(脱温暖化センターひろしま)



自分たちで企画を作る(上)、企画を発表、意見交換(左)

【実践活動一覧】〔活動名・実践団体の順に掲載〕

- ①子ども向け「出前講座」を興味深く楽しく学ばせ隊 【広島市地球温暖化対策地域協議会】
- ②引き籠もらずに外に出よう!～省和レトロ うずしお うたごえ喫茶♪～ 【脱温暖化ネットおんど】
- ③アイドリング・ストップ推進事業～LOVE クリーン ジュニアとシニアの環境活動～ 【大崎上島けんこう文化の島づくり協議会】
- ④イラスケ川浄化プロジェクト《イラスケ川生物編》 【エコINNくろせ】
- ⑤竹チップコンポスト大作戦 【くい環境会議】
- ⑥「緑のカーテンマップ」の改良 【海田町地球温暖化対策地域協議会】
- ⑦エネルギー体験講座～見えるエネルギーを体験しよう!～ 【かんきょう会議 浮城】
- ⑧エネルギーダイエット～電気で家計ダイエット～ 【脱温暖化福山中央地域協議会】
- ⑨お大師様めぐりウォーキング事業～お宝(ゴミ)さがして健康ウォーキング～ 【福山市今津学区公衆衛生推進協議会】
- ⑩グリーンカーテン写真コンテスト～ゴーヤを食べてCO2を削減～ 【三次市三和地区公衆衛生推進協議会】



私のクールチョイス

④ 広島県編(その2)

このコーナーでは、【買い替え】、【サービス】、【ライフスタイル】の3つの視点で、さまざまなクールチョイスの事例を紹介いたします。

- 【買い替え】省エネで高効率な家電、設備、建築物の低炭素製品への買い替えなど
- 【サービス】公共交通の利用やエコマークの付いた商品、グリーン電力の選択やスマートメーターによる「見える化」につながる低炭素サービスの選択など
- 【ライフスタイル】家庭でのエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を減らす取り組みやエコドライブなど

【サービス】(暮らしにあったエネルギー)



エコな生活は、総合科学だと考え実践しています。例えば、エネルギー効率の向上、電気代の節約はもちろん、劣化によるフロンなどの温室効果ガス漏出を防止するため、エアコンを買い替えました。風呂水再利用で使うポンプのホースは、スムーズなカーブにすることで抵抗によるエネルギーロスを減らしています。料理をおいしく作れるガスコンロを愛用していますが、グリルの余熱・排熱を利用し効率的な調理を心がけています。ガスの利用は、エネルギー源分散、多様化による停電対策やリスク管理でもあります。(循環型社会課長 加藤睦子氏)

第4回は、前回に引き続き、広島県の環境・廃棄物関係の各課長に、日頃取り組んでいる「私のクールチョイス」を紹介していただきます。

【ライフスタイル】(森林ボランティア)



自家用車に頼らず、自転車や公共交通機関を活用しています。また、早めのアクセルオフなどエコドライブを心がけ、給油のたびに燃費を計算し、効果をチェックしています。最近まで「クールチョイスって何?」という状態でしたが、ペアガラスを使った家の窓、水道の蛇口を全開にしない、照明をこまめに消すなど、生活の中で無意識にクールチョイスを実践していました。月に1、2回は森林ボランティアに参加し、間伐や育林活動でもCO2削減に取り組んでいます。(自然環境課長 神川勇人氏)

【ライフスタイル】(室温管理)



家庭では、LED照明への切り替え、エコドライブのほか、室温調整とクール・ウォームビズに取り組んでいます。また、寝るとき、子どもは湯たんぽを愛用しています。「一人の100歩より、100人の一歩」という言葉があります。地球温暖化防止をブームにしないために、できることから取り組むだけでなく、「ランプ付き節電タップは本当に省電力か?」など素直な疑問や関心を持つこと、苦痛を感じずに、長く続けていく工夫が大事だと感じています。(産業廃棄物対策課長 柳井義正氏)